

JAPONAIS

EXPRESSION ECRITE

私達のお寺には、政治家や経営者など、人の上に立たねばならない方々が多く坐禅をしに訪れます。彼らと話していると、必ず「静かに心を落ち着けて、考える時間」を、自分で作っています。彼らは、人一倍忙しい人達ですが、それでも工夫をして時間を作り出しているのです。そういう意味では、リーダーと呼ばれる人達が、坐禅を組む理由は、自分だけの時間を作り出すためとも言えるかもしれません。

ある日本有数の企業のトップからは、「今でもよく、会社がつぶれて一文無しになる夢を見る」と打ち明けられました。その会社は、業績も好調で、何か具体的な懸念材料があるわけではありません。彼が抱えているのは、「漠然とした不安」であるように思えました。経営者の不安の根っこにあるのは、「孤独」ではないでしょうか。組織のトップに立てば、最終的な決断は、自分一人でなくてはならない。その決断によって、影響を受ける多くの人がいるわけですから、不安なのは当然です。坐禅とは、この不安と孤独と共に生きる覚悟をすることです。もっと言えば、ふとわき起こってきた不安を自分の中に「固めない」作業と言うことになるでしょう。「漠然とした不安」をいくら考えても答えは出ません。答えは出ない、これ以上自分に出来ることはないと思いついた時、不安は溶けていきます。

「不安」は、心を曇らせます。しばしば、リーダーというものは、一瞬の判断を迫られますが、その時、自分がどれだけ静かに落ち着いているかが重要になります。だから、戦国時代の武将たちは、坐禅をよりどころとしたのかも知れません。

「経営者のための禅の効用」平井正修

2014年7月文芸春秋